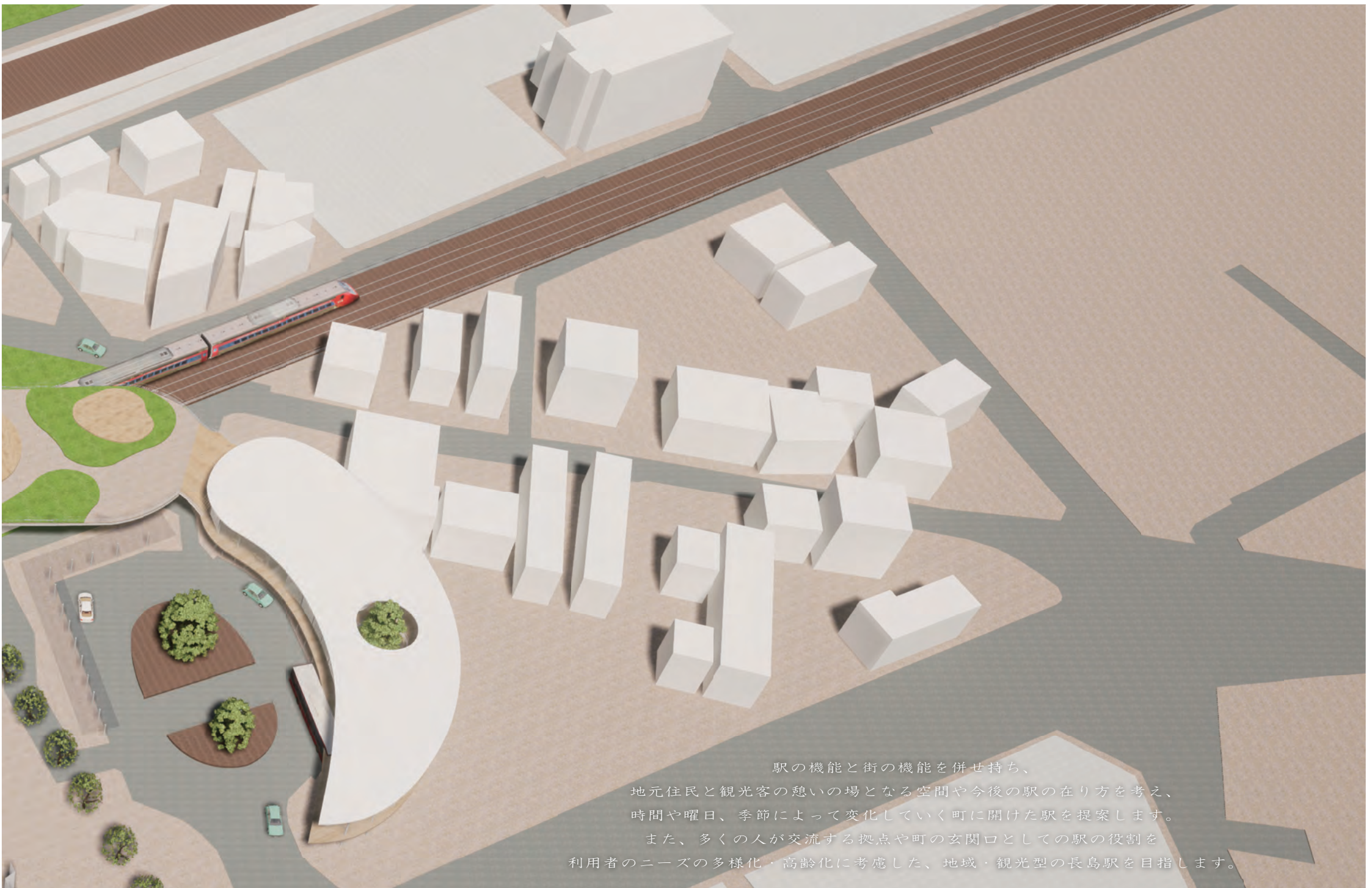


長島駅の設計提案

— 出合い、交わり、繋ぐ。 —



駅の機能と街の機能を併せ持ち、
地元住民と観光客の憩いの場となる空間や今後の駅の在り方を考え、
時間や曜日、季節によって変化していく町に開けた駅を提案します。
また、多くの人交流する拠点や町の玄関口としての駅の役割を
利用者のニーズの多様化・高齢化に考慮した、地域・観光型の長島駅を目指します。

バス、電車、航空など私たちの生活に密接な公共機関。

中でも通勤や通学、旅行などで電車や新幹線を使う人も多いのではないのでしょうか。そんな身近な乗り物を快適に利用させてくれるのが、**街の駅**です。

駅は、地域交通の拠点であり、人と人、人と街を繋ぐハブでもあることはもちろん、近年では災害時の防災拠点、地域コミュニティの中核としての役割を担っています。

駅を中心に街のネットワーク機能を見直すことで、
 少子高齢化、中心市街地の空洞化など地域が抱える問題を解決し、
 持続可能な街づくりが叶えられるとされています。

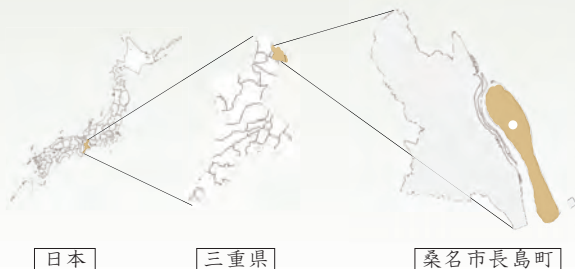


02. 目的

1. 駅を拠点に地域住民、駅の利用者、街それぞれが繋がるコミュニティの場を作る。
2. 駅の機能を充実させ街のシンボルとしての認知度を高めることにより、駅からはじまる地域の活性化を目指す。

電車で街に降り立つ。
 新たな街で人や物と出会い、
 人と人、食べ物、商品、景色、とが交わり、
 人と想い、駅、街と繋がる。

03. 計画敷地



計画敷地：三重県桑名市長島町長島駅
 人口：14,332人(2022/2/1)

地域性：三重県の北勢地域木曾三川河口部に位置し町全域が平坦低湿。伊勢湾台風の教訓から堤防に囲まれた輪中によって構成されており、また南北に長い土地である。そして地理的に人の行き来の障害となる木曾三川に挟まれたことで、西日本と東日本の文化の境界に当たる。

観光施設：ニューハートピア温泉・国管木曾三川公園カルチャービレッジ・長島スポーツランド・長島スパランド・湯あみの島・なばなの里・ジャズドリーム長島・名古屋アンパンマンこどもミュージアム&パーク・ホテル花木水・ガーデンホテルオリーブ・ホテルナガシマ



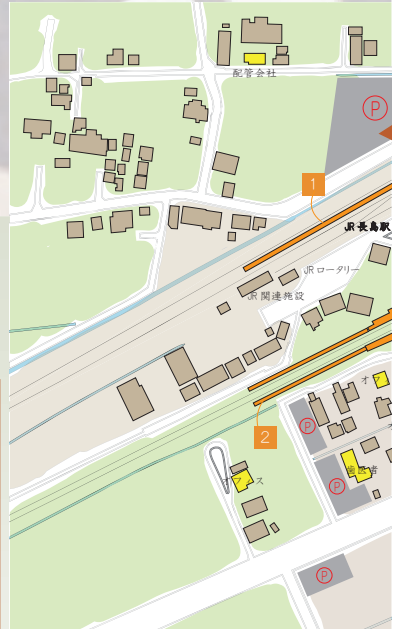
フィールドワーク

1 JR長島駅

駅の利用者は会社員や高校、大学に通学する学生がほとんどが利用者が少ない。
 JR長島駅駅舎は改札がなく、無人駅である。また、ホームには屋根と表示板のみ存在し待合室がなくベンチは3席ある。
 JR長島駅からは朝日や夕日等美しい景色が見える。周りの土地は約2メートル高い場所にJR長島駅がある。

撮影ポイント1~4

- 1: JR長島駅の入口 JR長島駅へ通じる地下へ降りた階段が狭い。ロータリーがなく、車が数台路上駐車していることがある。
- 2: JR長島駅と近鉄長島駅の間の歩道 車は通ることができず、両側に絵画教室や住宅等建物が並び奥に線路が見える。
- 3: ロータリーへ通ずる道 右手に近鉄長島駅駅舎。左手に焼肉屋、先にはロータリーが見える。住長が通り抜けるときに使用する。
- 4: 近鉄長島駅のエントランスを見た景色 ロータリーの中央には大きな松があり、周りは緑に囲まれている。



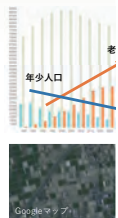
各駅の現状の課題と改善案 JR長島駅・近鉄長島駅

JR長島駅 施設部位	問題点	改善案	近鉄長島駅 施設部位
1 プラットホーム	ホームの両側は壁がなく、屋根が一部しかないため風雨が降りやすい。 ライティングがなく、夜間は暗い。	ホーム長に対して2/3に屋根を設け風雨を防ぐ。 LEDライトを等間隔で設け、明るさをプラスする。	1 プラットホーム
2 待合室	待合室がない。	約10人が利用できる待合室を設置し、ホームにもベンチを設ける。	2 待合室
3 トイレ	トイレがない。	新設する施設のトイレを利用する。	3 トイレ
4 改札口	屋根が一部しかなく改札の際は雨で濡れる。	改札口まで天井を設ける。	4 改札口
5 駅のエントランス	ライティングが少なく、夜間は暗い。 通路の幅が狭く、壁や天井のコンクリートが劣化している。	LEDライトを等間隔で設け、明るさをプラスする。 滑り抜けできる地下道の幅を広げ、壁や天井は明るい色を用いる。	5 駅のエントランス
6 ロータリー	道路に車を止めて乗降を行っている。	ロータリーにピクトサインを導入することにより、駐車スペースを明確に確保する。	6 ロータリー
7 サイン	長島駅のサインが分かりにくい。	サインをわかりやすく配置し、大きくする。	7 サイン

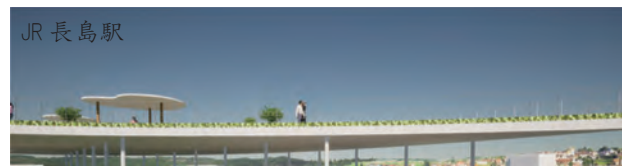
現状と課題

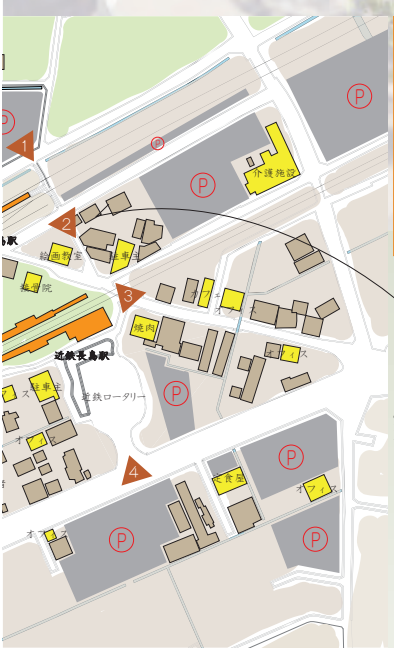
長島町を読み解く

- ・少子高齢化が進み、地方衰退が現れている(右図)。
- ・なばなの里は冬のイルミネーションの時期は県内外から観光客が押し寄せ、幹線道路の渋滞や駅の混雑化が見られる。しかし、平日や夏季になると観光客は減り、長島町の活気がなくなる。
- ・長島町の8割を田畑が占める(右図)。
- ・空き家の増加。 ・輪中地帯。



そこで、1年を通して長島町を訪れてもらうため、
**駅の機能と地域の特性を活かした複合施設やイベント開催により
 魅力ある長島駅を提案する**
 そして、長島駅を積極的に利用してもらい、そこから各観光施設を訪れてもらう。





2 近鉄長島駅

駅の利用者は社員や高校、大学に通学する学生、高齢の方が多く、朝の通勤・通学と夕方の帰宅時間の利用者が多い。
 ・お昼になると人がなかり静かな場所である。
 ・冬季や土日は周辺観光への利用客が多い。
 ・駅舎は屋根と待合室はあるが、壁がない。
 ・夜間になると駅員が無くなる時間帯がある。

JR長島駅と近鉄長島駅は並行に並んでおり、JR長島駅と近鉄長島駅の間の土地は閑雑され利便性が損なわれている。

駅周辺の立地調査

田畑	長島町の8割が田畑である
駐車場	12か所あるが、半分以上は埋まっている
店	飲食店や介護施設、オフィス等が多い
住宅	戸建てがほとんどだが、アパートも多々ある
川	水曾川と長長川につながる細い川
駅	JR長島駅と近鉄長島駅

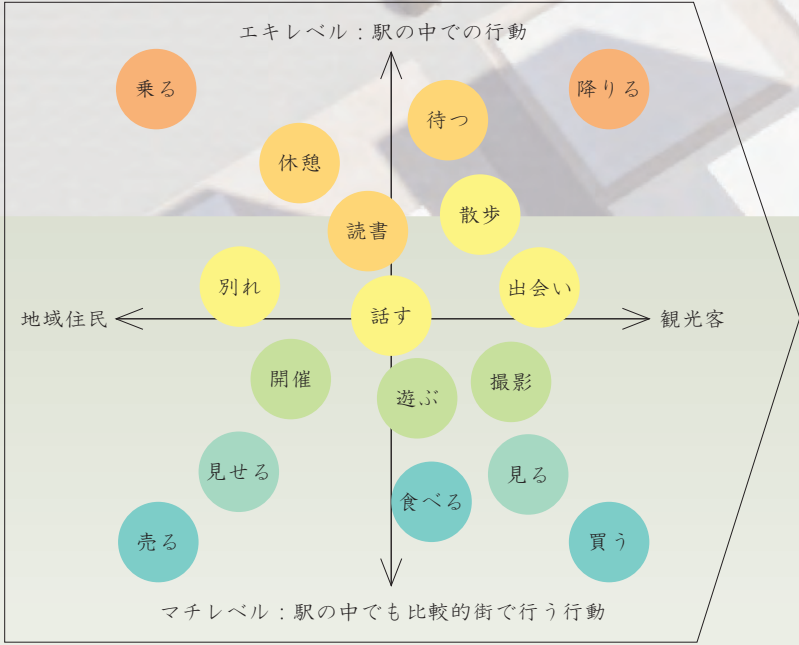
駅	問題点	改善案
ホーム	ホームの幅(約1.5m)が狭い。 ホームの高側は壁がなく、雨風が防げない。 トイレが蛍光灯で、夜間が暗い。 スロープが急になっており、所々段差が目立つ。	ホームの幅を2m以上確保する。 ホームの片側に壁をつける。 LED照明を等間隔で設置、明るさをアップする。 スロープを1/20にL、段差を解消しフラットにする。
待合室	待合室は夏は暑く、冬は寒い。 現在は5人程度が待合室で座れるが、限られた人数で狭い。	待合室のサイズに合わせたエアコンを設置し、換気設備を付加する。 約10人が利用できる空間にし、ホームにベンチをつける。
トイレ	トイレへ向かう道路は天井が低く(雨風が降り込んで)。 トイレの個室が少なく、トイレから見えることもある。 衛生設備や内装、照明設備も古い。	トイレへ向かう道路は天井を上げる。 個室を増やし、トイレが外から見えないよう配置する。 衛生設備や照明設備、内装を一新する。
改札	改札を通過すると、右手側へ踏み切りがあり雨風が降り込んで。 改札前は屋根がなく、雨風が降り込んで。	改札前からロープウェイで屋根を設け、雨風のしずむようにする。
サイン	長島駅の看板が隠れて見えにくい。 歩道と車道がクロスしており、段差があり、表示が分かりにくい。	長島駅の看板をサインなどで、目立たせる。 段差をできるだけ解消し、歩道と車道のサインを設ける。
その他	座る場所があるが、目撃もなく、椅子が壊れやすい。 観光地へ向かうバス待ちの人が待つ空間がない。 天井が低く、雨や目撃しが見えない。 トイレの位置が分かりづらい。	またたき待つことのできるカフェや屋根のかかった休憩空間を併設する。 天井を広めにし、スムーズに車の乗降を行えるようにする。 ビジュアルを取り入れたサインを計画し、位置を見直す。

ローカル駅の抱える問題

- ・ 少子高齢化などにより駅の利用者が減る。
- ・ 駅の無人化により施設の維持管理が怠る。
- ・ 電車の本数が少ないため、車の移動が増え、駅の利用者が減る。

・ 駅舎は画一化された建物ばかりで、地域性のないデザインである。

駅のデザインに地域性を持たせ愛着のある駅に、市民・観光客が街との繋がりを持つような駅を提案する



長島町の特徴であるJR長島駅と近鉄長島駅が並ぶ長島町この駅を中心に広がる人の行動をレベル分けする

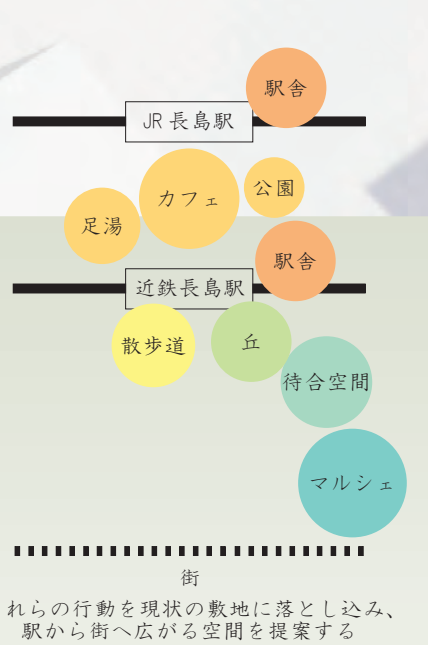
手法・「アースワーク」



「地球の作品(大地の芸術)」という名のとおり、野外、それも広大な大地や河川を舞台に大規模に展開される芸術のことをいう。

長島町も三つの川に挟まれた輪中地帯として、自然が作り出した町「アースワーク」と言える。

今回の設計する駅もこの「アースワーク」という大地の芸術を用い、長島、三重県特有の素材を活かした駅を提案する。



駅の建物形状に長島を囲う川の流れを用い、JR、近鉄、街を融合させの繋がりを持たせる





- ホームに風雨がしのげる屋根や待合室を設け、ベンチを増やし、電車の待ち時間を快適に過ごせられるようにした。また、以前のホームの床材はコンクリートであったが、自然石を用いることで、耐久性とデザイン性を兼ね備えた。
- 屋根上は長島の景色を一望できる「のんびり歩道」を設ける。



OPEN: AM7:00 ~ PM22:00 客席: 48席 テイクアウト可
 長島民の店員さんが地元の食材を使った料理を提供します。
 メニュー計画: 長島海苔の朝食セット、取れたてなばなのサンドイッチ、
 蛤の贅沢コース、安永餅スイーツプレート、各飲み物 etc

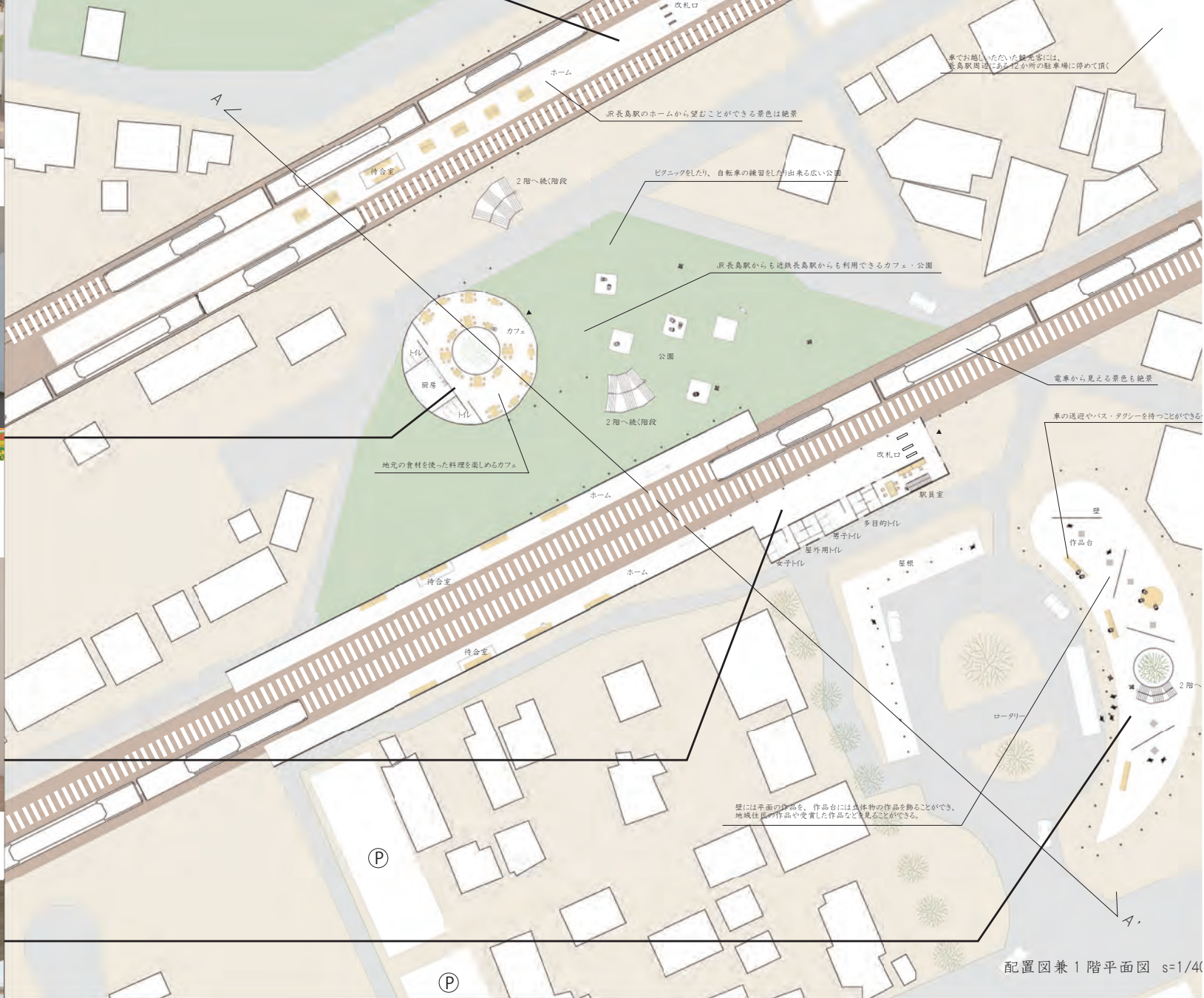
- 食事をしたり、待ち合わせ場所として人を待ったりする際にゆったりと楽しめるカフェ。
- カフェ中央には自然光を取り入れたガラス越しに緑や光を感じながら過ごすことができる。
- カフェ前の広場でテイクアウトした料理をピクニック気分でも楽しむこともできる。



- ホームに風雨がしのげる壁を追加し、ホームの広さを拡張することで電車の待ち時間を快適に過ごせられるようにした。
- 屋外から利用できるトイレを追加し、駅構内から利用できるトイレと合わせてトイレの配置を見直し、より利用しやすした。
- 待合室の拡張とベンチの増加で老若男女問わず利用しやすした。



- 観光地へのバス待ちや送迎の車待ちで待ち合いとして利用できる空間。
- 壁や作品台に子どもの絵や高齢者の作品など桑名市民の作品を鑑賞することができる。
- 長島町の観光施設へ行く際は駅を利用して、ここからシャトルバス(無料)で目的地へ移動してもらおう。

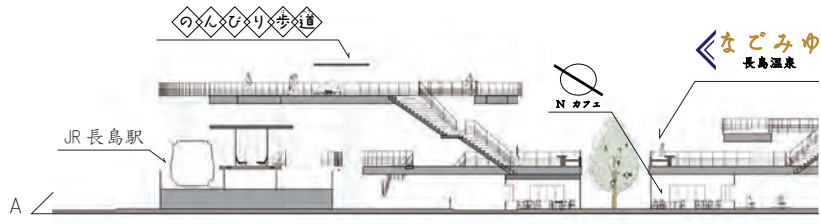


近鉄長島駅

配置図兼1階平面図 s=1/40

ながしり歩道

4つの異なる高さの島を繋げ、人の交わりや視線の行き交い、空間の繋がりを生み出す。また、屋外施設と屋内施設を混合し開放感と安心感を与える。さらに、三重県素材を各空間にちりばめ施設全体で土地のぬくもりを感じることができる。そんな駅を含めた複合施設を「長島ながしり歩道」と名づけた。地域住民から観光客、外国の方まで皆が立ち寄り交わる場として利用してほしい。



ながしり歩道

ながしり歩道
長島温泉

